
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年10月1日号

©2009年8月における中国のトウモロコシ市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年8月におけるトウモロコシ市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内価格は7ヵ月連続して上昇

2009年8月の国内トウモロコシ価格は7ヵ月連続の上昇となり、華北黄淮地域（黄河及び淮河流域にはさまれた地域）産地卸売価格は過去最高となった。

産地平均卸売価格は前月比4.6%高、年初の21.6%高、前年同月比4.0%高の1トン当たり1,703元、そのうち、東北産地卸売価格は同1.7%高、同18.8%高、同1.3%高の同4,591元、華北黄淮地域産地卸売価格は同6.2%高、同24.5%高、同5.1%高の同1,760元であった。

一方、消費地平均卸売価格は同2.6%高、同16.5%高、同1.2%安の1,896元であった。

2 国際価格は下げ止まり

2009年8月の国際トウモロコシ価格は前期の大幅下落後、低位安定となっている。米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシの平均FOB価格は、1トン当たり152ドル、前月比0.5%高、前年同月比35.2%安、シカゴ先物価格は同132ドルで前月並み、同38.9%安となった。

3 国内価格は年内で初めて国際価格（CIF+関税等）を上回る

国際海運運賃下落、国内価格上昇の影響を受け、国内価格は年内で初めて国際価格（C I F + 関税等）を上回った。

2009年8月の米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシF O B価格を1トン当たり1,041元と換算すると、国内産地トウモロコシ卸売価格に比べ657元安となった。

通関後価格（C I F + 関税等）では1トン当たり1,718元、同時期の国内東北トウモロコシの南方消費地港（広州埔港）港卸売価格に比べ85元安となった。

4 7月輸出入量大幅減

海関統計によると、2009年7月の中国のトウモロコシ輸出量は前月比21.7%減の11,136トン、一方、輸入量は同64.7%減の1,187トンとなった。

2009年1～7月の累計輸出量は、前年同期比50.0%減の70,207トン（主要輸出先国は北朝鮮と台湾）、同期間の累計輸入量は、同62.7%減の4,411トン（主要輸入先国は米国）となった。

5 2009/10年度の世界のトウモロコシ予想生産量は前月予想を上回る

国際穀物理事会（I G C）の2009年8月の予測によると、2009/10年度の世界のトウモロコシ生産量は前月予測1,300万トンに600万トン上積みされ、前年度比0.3%減の7.87億トン、消費量は前月予測から400万トン増加し、同2.4%増の7.97億トン、貿易量は同1.2%増の8,400万トンとなった。この結果、在庫量は前月予測から300万トン増加し同6.8%減の1.36億トン、在庫消費比は17.1%と予測されている。